

長野地域における「地域連携 IC カード」を利用した IC 乗車サービスの提供について

- 長野市公共交通活性化・再生協議会（長野県長野市 会長：西澤 雅樹）と東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区 代表取締役社長：深澤 祐二）は、長野地域のバスなどへの「地域連携 IC カード」を利用した IC 乗車サービスの提供について合意しました。
- これまで長野地域ではバス共通 IC カード KURURU（くるる）を運用してまいりました。これからは、Suica でも長野地域のバスをご利用いただけるようになり、観光など県外からのお客さまの利便性も向上します。

1 地域連携 IC カードの概要

地域連携 IC カードは、バスの定期券や各種割引などの地域独自のサービスの機能に加え、Suica エリアおよび Suica と相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどの Suica のサービスが、1 枚でご利用いただける 2in1 カードです。

2 地域連携 IC カードを利用した IC 乗車サービス対象路線（予定）

- ・アルピコ交通(株)の長野市、小川村を運行する一般路線バス全線
 - ・長電バス(株)の長野市、須坂市、飯綱町、高山村を運行する一般路線バス全線
 - ・長野市、須坂市、飯綱町、高山村を運行する乗合タクシー、市町村営バスの一部路線
- ※おおむね現行の KURURU と同じ利用範囲を想定しています。

3 サービス開始時期（予定）

2025 年春のサービス開始を予定しています。具体的な内容については、決定次第、お知らせいたします。

4 その他

これまで長野地域で利用されてきたバス共通 IC カード KURURU は新カード移行に伴い運用を終了いたします。お手元のカードの交換が必要となりますが、お手続き方法など具体的な内容については、決定次第お知らせいたします。

※長野市公共交通活性化・再生協議会…地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき2008年に設置され、2012年から長野地域のバス共通ICカードKURURUの運営を担っています。バス共通ICカードKURURUは、長野地域（長野市、須坂市、飯綱町、高山村、小川村）のエリア内を発着するアルピコ交通、長電バスの路線バスや乗合タクシー等の107路線で利用可能です。現在までの発行枚数（累計）は約16万4千枚、令和3年度の利用件数は約355万7千件となっています。

本件プレスリリースは、長野市政記者クラブ、長野市政記者会、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR 記者クラブ、国土交通記者会にお届けしています。

<報道機関お問合せ先>

長野市公共交通活性化・再生協議会

(事務局：長野市企画政策部交通政策課)

TEL026-224-5012

東日本旅客鉄道株式会社 コーポレート・コミュニケーション部門

TEL03-5334-1300